

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月26日

上場会社名 マックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6454 URL <https://www.max-ltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒 沢 光 照

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 北 谷 明 雄

TEL 03-3669-8106

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・ファンドマネージャ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	17,249	2.3	1,979	19.9	1,891	5.4	1,421	13.3
2019年3月期第1四半期	16,856	6.5	1,650	26.7	1,794	31.2	1,254	13.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 848百万円 (36.9%) 2019年3月期第1四半期 1,345百万円 (24.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	29.07	
2019年3月期第1四半期	25.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	95,974	72,644	75.6	1,483.24
2019年3月期	98,174	73,950	75.2	1,509.80

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 72,541百万円 2019年3月期 73,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				44.00	44.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,400	3.5	3,650	6.4	3,700	0.6	2,650	1.7	54.18
通期	72,350	3.2	7,450	4.2	7,600	4.8	5,250	3.7	107.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	49,141,426 株	2019年3月期	49,141,426 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	233,785 株	2019年3月期	233,737 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	48,907,641 株	2019年3月期1Q	49,267,140 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	14
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	14
(セグメント情報等)	14

[定性的情報・財務諸表等]

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 第1四半期連結累計期間の全社業績

(単位:百万円、%)

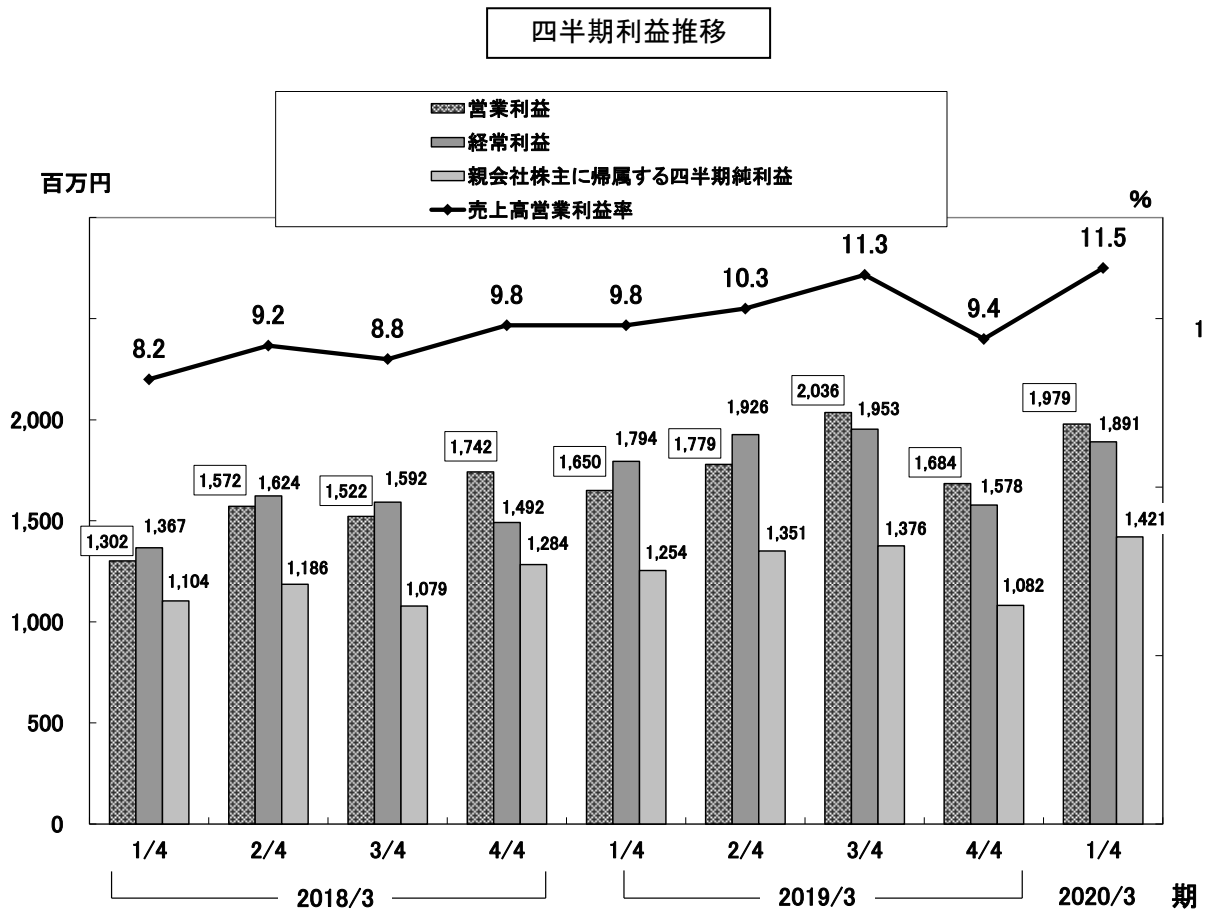
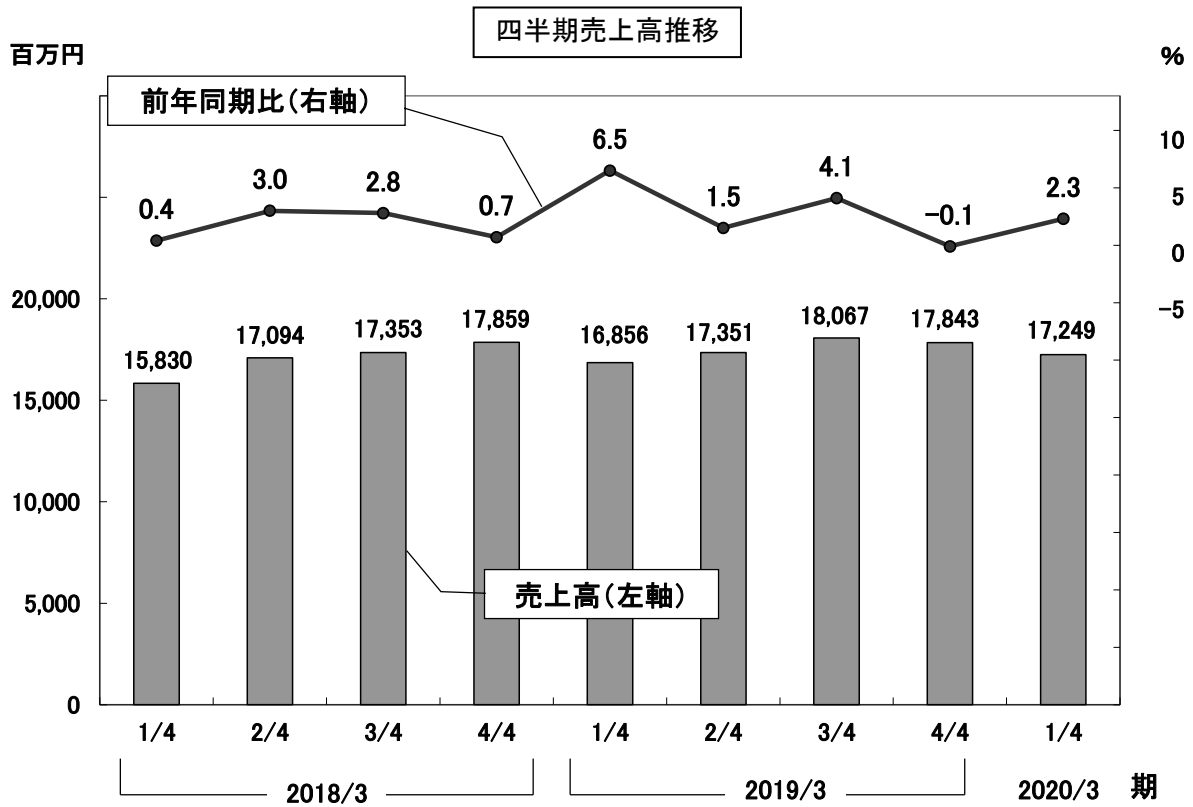
	当第1四半期 (2020年3月期)	前第1四半期 (2019年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	17,249	16,856	+392	+2.3
営業利益	1,979	1,650	+328	+19.9
経常利益	1,891	1,794	+97	+5.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,421	1,254	+167	+13.3
1株当たり四半期純利益	29.07	25.47	+3.60円	—
営業利益率	11.5	9.8	+1.7ポイント	

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復傾向が続きました。当社インダストリアル機器部門に関連する住宅市場は、金融機関の融資厳格化などにより、貸家の着工戸数が落ち込み、国内新設住宅着工戸数は減少しました。海外経済では、米国経済は雇用環境の改善による個人消費の増加など景気回復が継続、欧州経済は景気の一部に弱さがみられるものの緩やかな回復基調となりました。

一方で、通商問題や中国の景気減速による世界経済の不確実性などもあり、当社を取り巻く環境は先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下で、当期はインダストリアル機器部門が全社売上高を牽引し、増収となりました。

この結果、売上高は172億4千9百万円(前年同期比2.3%の増収)、営業利益は19億7千9百万円(同19.9%の増益)となりました。経常利益は18億9千1百万円(同5.4%の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億2千1百万円(同13.3%の増益)となりました。



②第1四半期連結累計期間の部門別業績

『オフィス機器部門』

(単位：百万円、%)

	当期 (2020年3月期)	前期 (2019年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	5,570	5,531	+39	+0.7
セグメント利益	1,322	1,224	+98	+8.1
セグメント利益率	23.7	22.1	+1.6ポイント	

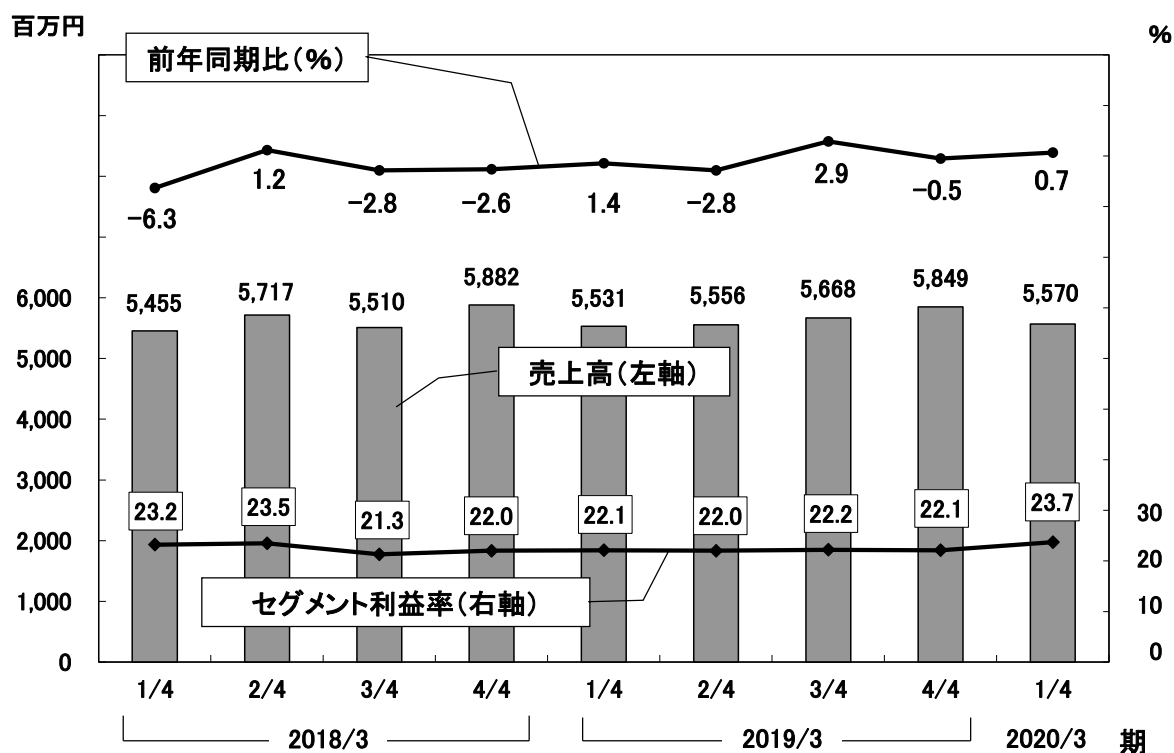
オフィス機器部門は、売上高55億7千万円（前年同期比0.7%の増収）、セグメント利益は13億2千2百万円（同8.1%の増益）、セグメント利益率は23.7%となりました。

「国内オフィス事業」は、文具関連製品の販売が減少したものの、表示作成機「ビーポップ（Be pop）」の販売が、安全表示などの用途で工場向けに増加し、微増収となりました。

「海外オフィス事業」は、1月に新製品を発売した表示作成機「ビーポップ」の販売が欧州市場で伸長したことや、文具関連製品においても回復が見られたことで、増収となりました。

「オートステープラ事業」は、円安に推移した為替の影響がプラスに働いたものの、一部取引先の在庫調整により販売が減少し、前年同水準となりました。

オフィス機器部門売上高推移



『インダストリアル機器部門』

(単位：百万円、%)

	当期 (2020年3月期)	前期 (2019年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,984	10,578	+406	+3.8
セグメント利益	1,305	1,045	+259	+24.8
セグメント利益率	11.9	9.9	+2.0ポイント	

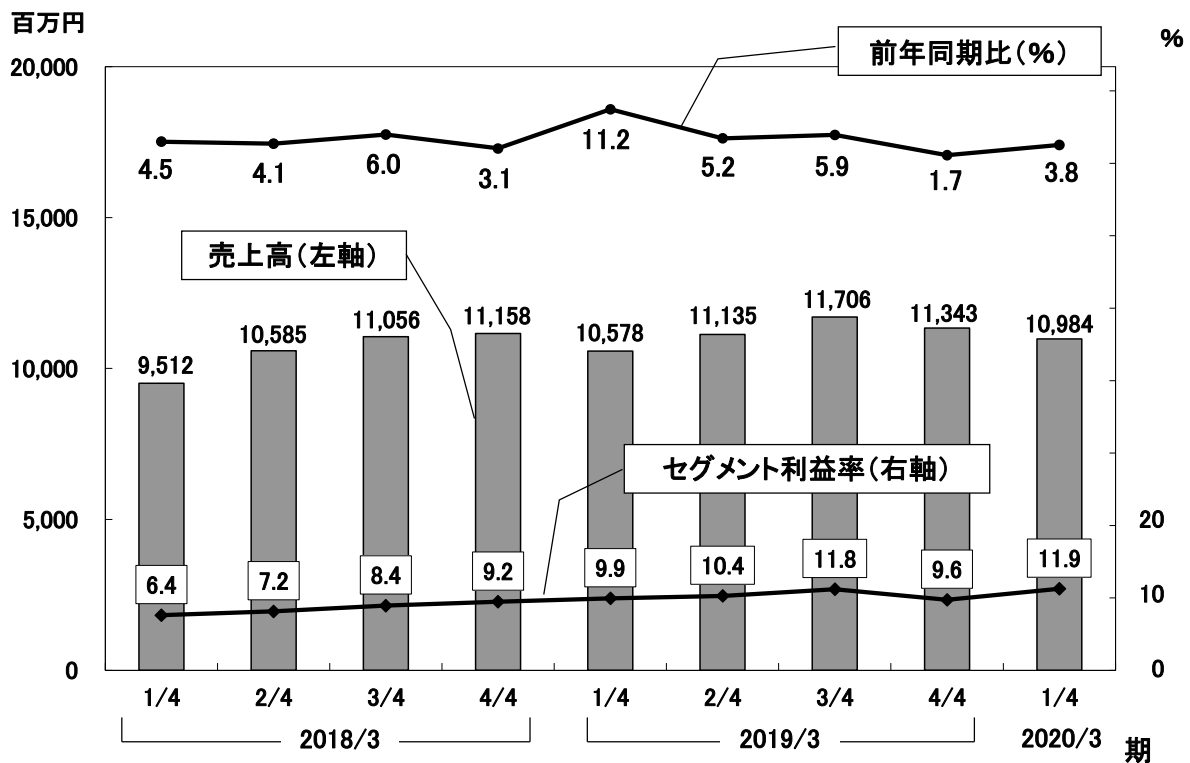
インダストリアル機器部門は、売上高109億8千4百万円(前年同期比3.8%の増収)、セグメント利益は13億5百万円(同24.8%の増益)、セグメント利益率は11.9%となりました。

「国内機工品事業」は、コンクリート構造物向け工具の販売が鉄筋結束機「ツインタイヤ」を中心に増加したことに加え、釘打機やコンプレッサなど木造建築物向け工具の販売も増加し、増収となりました。

「海外機工品事業」は、欧米市場での販売網の拡充により、土木市場や現場建築市場で鉄筋結束機「ツインタイヤ」の導入が進んだことで、コンクリート構造物向け工具の販売が増加し、増収となりました。

「住環境機器事業」は、賃貸市場の着工戸数減少の影響があったものの、主力の「ドライファン」の販売が、マンション向けやリフォーム・リプレイス・点検のストック市場向けで増加し、増収となりました。

インダストリアル機器部門売上高推移



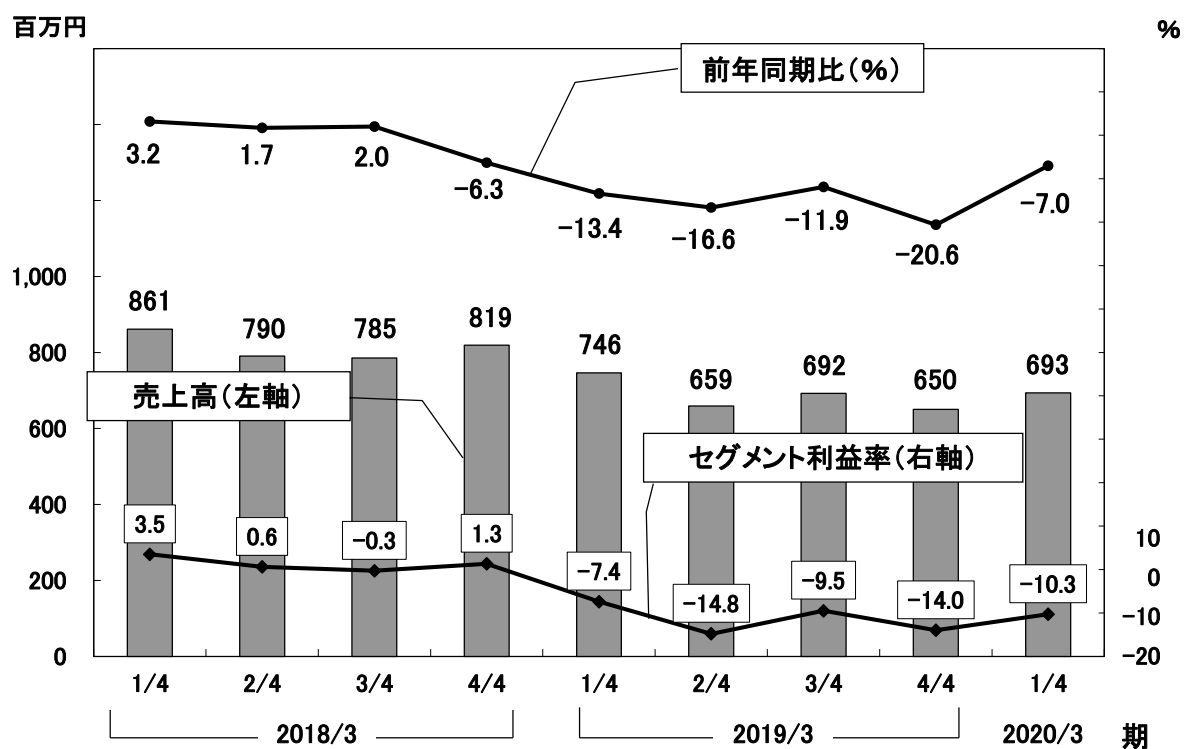
『HCR機器部門』

(単位：百万円、%)

	当期 (2020年3月期)	前期 (2019年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	693	746	△52	△7.0
セグメント利益	△71	△55	△16	—
セグメント利益率	△10.3	△7.4	△2.9ポイント	

HCR機器部門は、前期後半に発売を完了した新製品車いすへの切り替えを進めていますが、旧製品の販売終了と高単価車いすの販売減少により、売上高6億9千3百万円（前期比7.0%の減収）、セグメント利益は△7千1百万円となりました。

HCR機器部門売上高推移



(2) 財政状態に関する説明

連結貸借対照表 要約

(単位：百万円、%)

	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)	前連結会計年度 (2019年3月31日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率
総資産	95,974	98,174	△2,200	△2.2
純資産	72,644	73,950	△1,305	△1.8
自己資本比率	75.6	75.2	+0.4ポイント	

資産の部は、前連結会計年度末に比べ、22億円減少し、959億7千4百万円となりました。流動資産については、有価証券が14億5百万円、現金及び預金が8億8千7百万円減少したことなどにより、29億8千1百万円減少しました。固定資産については、有形固定資産が3億6千5百万円、投資有価証券が2億4千5百万円増加したことなどにより、7億8千1百万円の増加となりました。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ、8億9千4百万円減少し、233億2千9百万円となりました。流動負債については、賞与引当金が9億5千7百万円減少したことなどにより、7億7千万円減少しました。固定負債については、退職給付に係る負債が1億7百万円減少したことなどにより、1億2千4百万円減少しました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ、13億5百万円減少し、726億4千4百万円となりました。株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益が14億2千1百万円ありましたが、配当金の支払21億5千1百万円などがあつたため、7億3千万円の減少となりました。

その他の包括利益累計額については、その他有価証券評価差額金が4億9千5百万円減少したことなどにより、5億6千9百万円減少しました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が8億8千7百万円減少したことにより、213億3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、16億1千6百万円となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が19億8千5百万円、減価償却費が6億4千万円、一方で主な減少は、賞与引当金の増減額が9億5千9百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、4億3百万円となりました。主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が20億7千7百万円、一方で主な減少は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が15億7百万円、有形固定資産の取得による支出が9億4千8百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、19億9千万円となりました。主な減少は、配当金の支払額が19億2千9百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

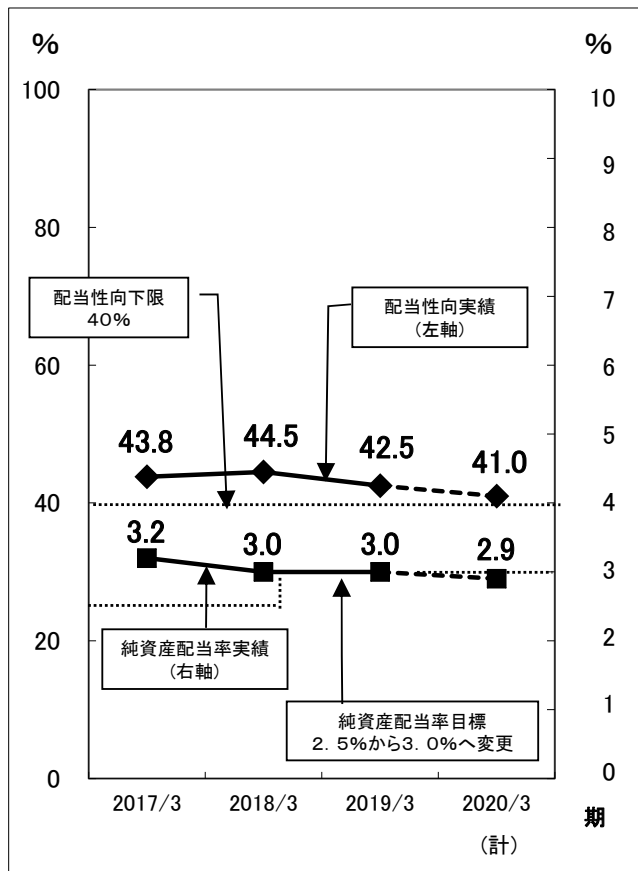
2020年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年4月26日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

配当の状況

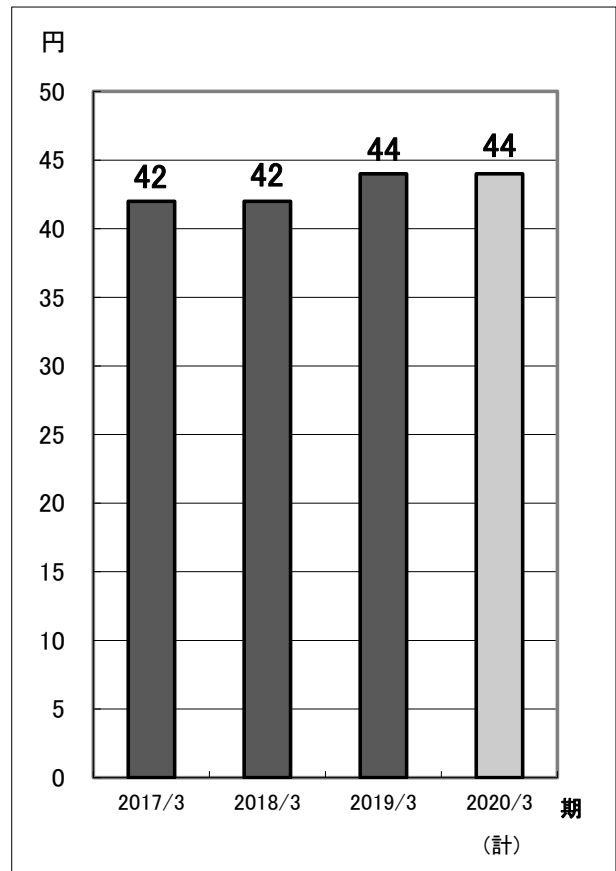
当社の配当方針は、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率3.0%を目指す」を基本方針としています。

当期は、先行き不透明な経済環境や為替動向などが当社業績に影響を及ぼす可能性があります。前期と同様の「1株当たり年間配当金44円」とする予定です。

配当性向及び純資産配当率



1株当たり配当金



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,190	21,303
受取手形及び売掛金	14,394	13,656
有価証券	4,915	3,509
商品及び製品	6,095	6,182
仕掛品	782	915
原材料	1,097	1,054
その他	1,075	948
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	50,549	47,568
固定資産		
有形固定資産	19,188	19,553
無形固定資産	228	244
投資その他の資産		
投資有価証券	23,552	23,797
その他	4,662	4,817
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	28,208	28,608
固定資産合計	47,624	48,406
資産合計	98,174	95,974
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,713	3,493
短期借入金	1,850	1,850
未払法人税等	1,082	555
賞与引当金	1,753	795
役員賞与引当金	44	9
製品保証引当金	112	99
その他	3,723	4,705
流動負債合計	12,279	11,508
固定負債		
長期借入金	150	150
製品保証引当金	14	10
退職給付に係る負債	10,799	10,691
資産除去債務	29	29
その他	952	938
固定負債合計	11,945	11,820
負債合計	24,224	23,329

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,367	12,367
資本剰余金	10,517	10,517
利益剰余金	51,533	50,803
自己株式	△319	△319
株主資本合計	74,099	73,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,417	922
土地再評価差額金	△339	△339
為替換算調整勘定	△82	△293
退職給付に係る調整累計額	△1,253	△1,116
その他の包括利益累計額合計	△258	△827
非支配株主持分	109	103
純資産合計	73,950	72,644
負債純資産合計	98,174	95,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	16,856	17,249
売上原価	10,281	10,115
売上総利益	6,574	7,133
販売費及び一般管理費		
給料	1,433	1,442
賞与引当金繰入額	455	423
役員賞与引当金繰入額	9	9
退職給付費用	274	251
荷造及び発送費	553	573
販売促進費	286	320
減価償却費	155	241
その他	1,754	1,891
販売費及び一般管理費合計	4,924	5,154
営業利益	1,650	1,979
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	66	69
負ののれん償却額	1	—
為替差益	59	—
その他	23	23
営業外収益合計	165	109
営業外費用		
支払利息	9	11
租税公課	1	2
為替差損	—	175
その他	10	7
営業外費用合計	21	197
経常利益	1,794	1,891
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	118
特別利益合計	—	119
特別損失		
固定資産廃棄損	2	3
減損損失	—	21
特別損失合計	2	25
税金等調整前四半期純利益	1,792	1,985
法人税等	537	562
四半期純利益	1,254	1,422
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,254	1,421

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,254	1,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△495
為替換算調整勘定	△92	△215
退職給付に係る調整額	149	137
その他の包括利益合計	91	△574
四半期包括利益	1,345	848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,346	852
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,792	1,985
減価償却費	540	640
のれん償却額	35	—
負ののれん償却額	△1	—
減損損失	—	21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,016	△959
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32	△35
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5	△16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	118	89
受取利息及び受取配当金	△80	△86
支払利息	9	11
為替差損益(△は益)	16	△11
固定資産廃棄損	2	3
固定資産売却損益(△は益)	—	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△118
従業員預り金の増減額(△は減少)	454	381
売上債権の増減額(△は増加)	776	638
たな卸資産の増減額(△は増加)	△306	△254
仕入債務の増減額(△は減少)	69	△86
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1	41
その他の資産の増減額(△は増加)	16	38
その他の負債の増減額(△は減少)	△17	242
小計	2,369	2,524
利息及び配当金の受取額	107	106
利息の支払額	△9	△14
法人税等の支払額	△877	△999
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,590	1,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,737	△1,507
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,800	2,077
有形固定資産の取得による支出	△862	△948
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△9	△38
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	23	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,786	△403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,845	△1,929
非支配株主への配当金の支払額	△0	△1
リース債務の返済による支出	△57	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,903	△1,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	△109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,122	△887
現金及び現金同等物の期首残高	23,722	22,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,600	21,303

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	5,531	10,578	746	—	16,856
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,531	10,578	746	—	16,856
セグメント利益又は損失(△)	1,224	1,045	△55	△563	1,650

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△563百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△563百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	5,570	10,984	693	—	17,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,570	10,984	693	—	17,249
セグメント利益又は損失(△)	1,322	1,305	△71	△577	1,979

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△577百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△577百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。